

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	132406		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名	児童予防接種事業			担当部局・課	健康福祉部 健康福祉課			
事業内容	保健センターによる集団接種方式（BCG、ポリオ） 市内受託医療機関による個別接種方式（DPT、MR、麻しん、風しん、日本脳炎）			事業開始(予定)年度				
				—				
				事業終了(予定)年度				
			—					
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	市民の健康づくり推進（母子）					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	予防接種を実施し、対象者がそれぞれのワクチン接種を受け、抗体を高く保つことにより感染を予防する。 予防接種の接種率を高く保ち、病気の発生及び蔓延を予防する。			予算費目 （複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	（款） 衛生費 （項） 保健衛生費 （目） 予防費 （事項） 予防接種費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	124,438千円	財源内訳		事業費	141,034千円	財源内訳	
			国・県補助金等	—			国・県補助金等	—
			市 債	—			市 債	—
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—
			一般財源(市税等)	124,438千円			一般財源(市税等)	141,034千円
	投入人員	1.20人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	1.20人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	10,279千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	10,279千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
経費合計	134,717千円		経費合計	151,313千円				
活動指標	指標名(単位)	接種者数（人）			計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
	意味・算式等	予防接種済者の増加により病気の発生及び蔓延を予防する。				計画値	26,444	19,488
						実績値	21,076	